

学校関係者評価書

平成 30 年 9 月 1 日開催

名古屋工学院専門学校

1. 学校の重点目標

1. 教員の質

1) 公開授業を通じた教員相互間の評価、学生授業アンケートのフィードバック、あるいは教員研修への積極的参加などを実施することにより、教員の教育力向上を図る。

2. 教育内容の質

1) グランドシラバスおよびそれに基づくシラバスの点検・整備などにより、自らカリキュラムの更新を継続するとともに、教育課程編成委員会において企業からのアドバイスをいただくことにより、社会から必要とされる知識・技術の導入を図る。

2) より実践的な教育を進めるため、企業あるいは関連業界団体とのよりいっそうの連携を図る。

3. 教育成果の質

1) 各分野・学科が設定している教育目標の達成度向上に向けた工夫を行い、より高い成果を実現する。

2) 就職を教育成果の最終成果ととらえ、就職率向上に向けた施策を実施する。

4. 学習環境の質

1) 学生が、日常において教育を受け生活する校舎ならびに教育施設・設備の充実について、継続した施策を実施する。

2) 卒業直前に、在学期間における本校の教育サービス全般(ハード面、ソフト面)について学生の満足度調査を行い、その結果に基づいて学習環境の改善を図る。

2. 学校の重点目標に対する評価・意見

- ①教員の質の向上については、我々企業においても同様に取り組むべき事が言えると思いました。
- ②教員の質の向上が良い学生を育てることに繋がり、その結果、社会人になった時、良い仕事ができる社員に育つことに繋がると思います。
- ③専門的な知識や技術、技能に加え、キャリア教育の重要性はインターンシップや企業講演会、および企業研究セミナー等の実施を評価しております。企業側は専門知識を持った学生を求めており、社会から喜ばれる人材の育成を精神の理念として教育の維持向上への取り組みを高く評価しております。
- ④重点目標については、適切な対応をしていると考えられます。
- ⑤就職については、卒業生の斡旋も考慮に考えていただけると助かります。
- ⑥学校教育に真摯に取り組んでいる学校であることが良くわかりました。
- ⑦教員の質を高めるためのインターンシップ実施に取り組んでいることは大変良い事であり、今後も充実させて欲しい。
- ⑧資格取得に対する取り組みは素晴らしいものがあると思います。学生にとっても社会に出てからの自分の武器になるので、より一層の充実を期待します。
- ⑨学校目標に対する評価については報告書に記載されている通り、適切になされていると考えます。ただし、世の中の変化のスピードが大変速い昨今でありますので、学生の気質、社会からのニーズも大きく変化することが予想されます。そのための教育アプローチ手法や、新たなリサーチにより、今以上の教育力の増強ができれば、より一層社会から喜ばれる学校になっていくと思います。

3. 学校自己評価報告書についての評価点の平均

基準ごとに次の3点について4段階で評価してください	学校が行った自己評価の結果が適切かどうかについて。	学校運営等の改善に向けた実際の実践の取組みが適切であったか。	自己評価の結果を踏まえた今後の改善方針が適切であったか。
	4：適切な評価である	4：十分適切な取組みである	4：十分な効果が期待できる
	3：ほぼ適切な評価である	3：ほぼ適切な取組みである	3：ほぼ十分な効果が期待できる
	2：やや不適切な評価である	2：あまり適切とはいえない取組みである	2：あまり効果が期待できない
	1：不適切な評価である	1：適切とはいえない取組み	1：効果は期待できず、改善を要する
(1) 教育理念・目標	4	3.9	3.7
(2) 学校運営	4	4	4
(3) 教育活動	3.9	3.7	4
(4) 学修成果	3.9	3.7	3.7
(5) 学生支援	3.9	4	3.9
(6) 教育環境	4	4	3.9
(7) 学生の受入れ募集	4	3.9	3.9
(8) 財務	4	4	4
(9) 法令等の遵守	4	4	4
(10) 社会貢献	4	4	4
(11) 国際交流	3.9	3.9	3.9

4. 今後の改善方策についての意見

- ①退学率低減の取り組みは十分に評価できますが、新入生に対する意識付けを実感してやれるよう、上級生との共同学習などがあると良いと思いました。
- ②宣伝・広報において、他の学校に比べて素晴らしい実績(資格・スキル取得)をお持ちですので、WEBサイトの第一印象で伝わるようお願いしたいと思います。
- ③貴校の取り組み、対応状況について改善等の要望はありませんが、平成31年度より新たな学科開設(AIシステム科)が今後のITビジネスではキーワードになってくるかと思えます。技術力向上及びスキルアップと共に社会に貢献できる人材育成に期待をしております。
- ④インターンシップの実施による就職活動を、今まで以上の企業と行っていった方が良いと考えられます。
- ⑤就職活動の通年採用企業が増えてきています。この辺りも視野に入れておいた方が良いと考えられます。
- ⑥他の学校に比べて企業説明会の開催が早い割りに各企業への応募が遅いのはなぜでしょうか？
- ⑦危機管理体制の見直しに伴い、危機管理マニュアルの早期完成が必要であると思う。また、避難訓練の実施も必要ではないでしょうか。
- ⑧退学率低減のための保護者との連携をさらに深めるための対策に取り組んで欲しいです。学園祭への招待や公開授業参観などを企画して、保護者が学校へ足を運ぶ機会を設けてはいかがでしょうか。
- ⑨学生個々の学習履歴が多種多様化する現在、家庭＋保護者との連携を強化なものにしながら学生指導していく必要があると感じます。面談形式の教育懇談会は勿論、SNSやデジタル通信などを多用し、保護者に成績や出席状況がリアルタイムに提供していただければ退学者数の低減や就職率の向上などにも効果があると思えます。ご一考お願い致します。

5. 今後の具体的な改善方策

- ①ゲームCG分野においては、自主参加型のゼミナール(ゲームプログラム制作ゼミナールやゲームCG制作ゼミナール等)を開講しております。現時点で学年の垣根を越えた交流ができておりますが、より充実したゼミナールとなるよう努めてまいります。
- ②WEBサイトにおいては、最も有力な広報手段であるとの認識から、企画部広報課と連携を取り、より充実したコンテンツの紹介ができるよう努めてまいります。
- ③新設学科の開設においては、新入生受入れの準備は万全に整っております。新設学科で教育を受けた学生が、世の中で必要とするスキルを身に付け、社会で活躍できるよう努めてまいります。
- ④社会経験を身に付けるだけのインターンシップではなく、内定に結びつくためのインターンシップであるべきだと考えております。学生が希望する企業へインターンシップに参加できるよう、受入れ企業の拡充に努めてまいります。
- ⑤元々、通年採用企業の多い映像音響分野においては、さらに傾向が強くなることが予想されるため、応募の時期を逃してしまうことが無いように最善の注意を計っていきます。
- ⑥メディア学部では、資格取得や作品制作等に力を入れるため、就職活動の応募時期が多少遅くなることもありますが、学生に不利になることがないようバランスを考えながら調整を行っていることをご理解いただき、早期の応募に努めてまいります。
- ⑦今年度中に形あるものに仕上げられるよう努めております。避難訓練に関しては、災害時に役立つ実践的な内容で既に取り組んでおります。
- ⑧⑨懇談会に関しては、保護者の参加率を向上させるために日程調整を行う等の取り組みを行っております。一方、アンケート結果では「学校生活の状況を情報発信してもらいたい」という要望が数多く記載されるようになっております。体験入学に参加される保護者も年々増加している現状を踏まえ、保護者との対応は最重要事項であるとの認識を持ち、取り組んでいきます。